

## ハチのニュース

三木順一

○ウツギノヒメハナバチ自宅に住みつく。

このハチは山東町の楽音寺に数十万生息しているのは有名です。3回ほど見に行きました。福崎町のシャラの木で知られている応聖寺の境内にも、10年ほど生息していたが、ここ2、3年殆ど見かけません。3年前から自宅の庭に30程噴火口状の巣を作るようになりました。千種町にも発生の記事を新聞で見ました。このハチは日本で唯一種ウツギの花粉しか幼虫の餌にしないという珍しいハチなのです。巣は地中で、成虫を野外で見ると丁度ウツギの開花期の10日程です。刺しても痛くありません。

○福崎町の日本種ミツバチ

町内に日本種の野生ミツバチがいくらか生息しています。10年以上前から生息しているのは、山崎部落の二宮神社のカヤの木の空洞の巣、西大貫の大善寺の墓の墓石の下、七種の滝の肩にあるモミの木の幹、最近見たものは福田部落の小国登志夫方の小祠の中、などです。日本種は病害と寒さに強いのですが、蜜の収量が少なく、よく巣を捨てて逃亡するのが欠点です。

## オオセンチコガネ 姫路市での記録

兵庫県ではオオセンチコガネ *Geotrupes (Phelotrupes) aurata* Motschulskyの分布は県下全域に及んでいるように思われる(きべりはむし第21巻第1号)ようである。姫路市ではセンチコガネは多くみられるが、オオセンチコガネの採集例はあまり聞かない。この度筆者は姫路市林田町において犬糞にきていた個体と飛来してきた個体を採集しているので新産地として報告しておく。

オオセンチコガネ 2♂1♀ 姫路市林田町中構 1993-VI-20 col. 相坂耕作